

幌延町地域情報通信基盤整備事業

光ファイバー網がつなぐ幌延の未来

今月号では、先月号に引き続きインターネットについてお知らせします。

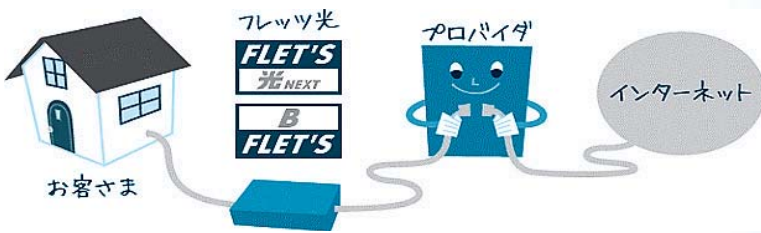
光ファイバーがつながるこの機会に、インターネットを始めよう。また、ISDNやADSLからの乗り換えも考えてみてください。

インターネットを利用する場合、NTTに申し込む、または各プロバイダーに申し込むことが必要です。申し込みをされると、NTTオペレーターから確認のお電話がありますので、詳しいことを確認することもできます。

プロバイダーとは？

プロバイダーはインターネットの入り口。フレッツ光とつながったお客さまをさらにインターネットへつ

なぎます。インターネットに接続するには、フレッツ光の契約とは別に、プロバイダーの契約が必要です。（別途月額利用料などがかります。）



光ファイバーって？

光ファイバーとは、現在急速に普及しているブロードバンドの中で、その速度・安定性において最も優れた通信回線です。ISDN・ADSL等が通常の電話回線（メタリックケーブル）を使用するのに対し、光ファイバーは光ファイバーケーブルを使います。メタリックケーブルが電気信号でデータのやりとりをするのに対し、光信号（光の点滅）でデータのやりとりをします。

光ファイバーのメリットは、何と云っても速度です。でも、それと同じくらい重要なのが、安定性です。ADSLが使用するメタリックケーブルは、NTTの局と自宅との距離に大きく左右されたり、宅内に

おけるノイズなどの外的要因で速度に大きな影響が及ぼされたりするのに対し、光ファイバーは距離やノイズなどにはほとんど影響されないの、安定した通信速度を可能にします。

光ファイバーのデメリットとしては、導入コストや月額利用料などがADSL等に比べて、高くなります。また、ADSLがほぼ全国をサービス可能エリアにしているのに対し、光ファイバーはまだ主要都市でのサービスに限られており、現在、エリア拡大中です。今回、幌延町がサービスエリアとなるわけですから、大いに活用していただきたいと思えます。

光ファイバーの利用

▼マンションで光ファイバー

マンションのような集合住宅で光ファイバーを利用する場合は、一戸建ての場合とちよつと違います。まず、NTTによる回線

調査のあと、実際に光ファイバーを集合住宅へ引き込む工事となりますが、ほとんどの集合住宅の場合、各室へ電話回線を分配している主配電盤という装置が1階か地下にあり、最寄りの電柱などからその主配電盤まで光ファイバーを引き込みます。

主配電盤までの配管等の設備は、基本的にマンション側の負担となります。（公営住宅の場合は町となります。）

さらに各室へは、主配電盤から光ファイバーを引くこととなります。

▼一戸建てで光ファイバー

電柱などには、クロージャと呼ばれる分岐装置が設置されています。これは、束になって電柱まで来ている光ファイバーから1本だけ分岐させて建物に引き込むための装置です。

このクロージャから、建物まで光ファイバーを引き、建物壁へ屋外キャビネットを取り付けます。ここまでの工事費用はユーザーへはかかりません。